株式会社 サーモ理工

研究開発用熱処理機器開発

研究開発用熱処理装置専門のオンリーワン企業。創立以来34年間蓄積された独自の熱技術を駆 使した赤外線加熱装置は新材料物質の熱処理・研究に多用され、全国の理工系大学、研究開 発法人、民間研究・開発部門に納入実績があります。



赤外線導入加熱装置(GVL298

♥ 得意な技術・製品

【得意な技術】

・赤外線を熱源に採用した熱処理技術 人工的に発生させた赤外線を楕円反射ミラーにより集光させ、加熱物体 に伝送照射、短時間に高温度迄昇温させる熱処理技術が得意 加熱試料が空気中、ガス中、真空中、磁場中等の環境下でも周りを加熱 せず昇温可能

【製品】

・赤外線導入加熱装置、超高温スーパーRTA 装置、赤外線真空炉

္ 主要な技術・製品

【赤外線導入加熱装置(GVL298)】

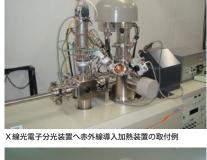
- ・赤外線ランプから発生した赤外線を楕円ミラーで集光させ、光ファイバー と同様に加熱試料まで伝送し照射昇温
- ・真空中に有る試料を1500℃迄1分間で昇温し、周りを加熱しない
- ・使用電力は僅か 2 kW
- ・X線光電子分光装置内の分析用試料のクリーン昇温にも多用され、サー モ理工独自の熱技術で他社では製作していない

【超高温スーパーRTA 装置(SR1800D)】

- ・透明石英管内に設置されている加熱物体に、楕円ミラーで赤外線を集光 させる加熱方式
- ・赤外線は効率よく加熱物体に照射し、1800℃迄僅か20秒で昇温
- ・所要電力は僅か 2 kW の省電力
- ・用途は SiC、グラフェン等の超高速熱処理に使用されている

【その他】

赤外線真空炉(IVF298W)等、各種熱処理機器取り揃え有





超高温スーパーRTA 装置(SR1800D)

- ■生産拠点・研究体制:東京都三鷹市下連雀(三鷹ハイテクセンター、研究員5名)
- ■主要設備:超高温加熱装置、高真空排気システム
- ■得意な顧客、市場分野:理工系大学、研究開発法人、民間研究部、新材料の研究分野
- ■主要取引先(企業名)、顧客構成:東京大学、東北大学、大阪大学、産業技術総合研究所
- ▶取得資格、認証(ISO 等): CE マーク取得
- ▶海外展開事例、海外拠点:代理店・英国リバプール。納入実績:イギリス、フランス、ドイツ、台湾、韓国。
- ▶受賞履歴(直近3~5年以内):2015年12月、日本表面科学学会より「産業賞」受賞。
- 公的支援利用状況(直近3~5年以内):平成25年度海外展開技術支援助成事業、平成24年度三鷹商工会新技術開発支援事業

カブシキガイシャ サーモリコウ

株式会社 サーモ理工

- ●資本金:1,000万円 ●従業員数:9名 ●設立年度:1982年
- ●連絡窓口(名前):代表取締役 遠藤智義
- ●所属団体:応用物理学会、日本科学機器協会

所在地: 〒181-0013 東京都三鷹市下連雀8-7-3 三鷹ハイテクセンター

電 話: 0422-76-2511 FAX: 0422-76-2514

<Eメール> sekigai@thermo-r.co.jp

<ホームページ>

http://www.kagaku.com/thermo/